

共に 共生 生きる とは何か

— 難民の声、
家族の歴史から
考えた多様性 —

同じ空の下で

見上げる空は つながっているのに
なぜだろう
私たちの間には 見えない境界線が引かれている
生まれた場所が すこし違っただけで
故郷をおわれ 冷たい風にさらされる人がいる
話す言葉が 少し違っただけで
自分のルーツを
胸の奥に隠さなければならない人がいる
「私には関係ない」と
目を伏せて なかったことにするのは簡単なこと
でも その涙 その祈り
いま この同じ空の下で 確かに息づいている
遠く離れた誰かの痛みを 自分のこととして考えてみる
まずは その声にそっと耳を傾けることから

講師

Yasuda Natsuki
安田菜津紀 さん

フォトジャーナリスト

認定 NPO 法人 Dialogue for People 副代表

東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。
東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。

司会 **国光かよこさん**
(フリーアナウンサー)

20
26 **12.6** | SUN | **13:30**
15:00

in マルシンクリスタルアージュ 大ホール(2F)
(安芸高田市吉田町吉田761)

主 催 / 人権多文化共生推進課 甲田人権福祉センター

問合せ / ☎ 0826 - 45 - 4922

mail ko-zinken@city.akitakata.jp

参加費
無料

どなたでも
参加可能

事前申込はありません



手話通訳がつかます